

SDGs デザインユニット : R5 活動報告書

張, 彦芳
九州大学大学院芸術工学研究院ストラテジックデザイン部門

<https://doi.org/10.15017/7170838>

出版情報 : 芸術工学研究. 39, pp.37-40, 2024-03-11. Faculty of Design, Kyushu University
バージョン :
権利関係 :



SDGs デザインユニット R5 活動報告書

SDGs Design Unit
2023 Activity Reports

張彦芳¹
ZHANG Yanfang

概要：SDGs デザインユニットとは

九州大学大学院芸術工学研究院は、国連が 2030 年までの達成を目指して掲げた持続可能な開発目標 (SDGs / Sustainable Development Goals) に対して、デザインの領域で貢献していく「SDGs デザインユニット」を 2018 年 4 月に設立した。

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標である。

SDGs デザインユニットは設立以来、九州大学芸術工学研究院がプラットフォームとなり、多様な分野の教職員とともに、教育、研究、社会連携など、多くの活動を推進してきた。

SDGs デザインユニット活動紹介

本校では、SDGs デザインユニットの R5 (2023) 年度の活動を紹介する。

1. SDGs Design International Awards 2023

「SDGs Design International Awards」(以下 SDGs アワード) は、すべての「当たり前」を根本から見直して、世界と連携して社会を変革させる起爆剤となるべく、芸術工学研究院が中心となり、2019 年にスタートした。世界中の学生から広く SDGs の目標達成に繋がるデザインアイデアを募集し、その中から優れた作品を表彰することで、若者を勇気づけるとともに、若者が生み出したアイデアを広く世界の多くの人とシェアし、持続可能な社会づくりに活かすことを目標とする。



図 1 SDGs Design International Awards 2023 宣伝イメージ

本アワードは 2023 年で 5 回目の開催を迎え、今回は「未来の子育て」をデザインしよう！をテーマとして設定した。未来の担い手である世界中の子どもたちが平和で健

連絡先：張彦芳, zhang417@design.kyushu-u.ac.jp

¹ 九州大学大学院芸術工学研究院ストラテジックデザイン部門
Department of Strategic Design, Faculty of Design, Kyushu University

やかに学び育っていくために、また子どもたちを囲む人々のために、様々な視点でのサポートや改革を目指すためのデザインアイデアを募集した結果、17 の国より、202 件のアイデアが寄せられた。

授賞式は、芸術工学研究院と東西大学（韓国）が連携し、日本と韓国で開催した。国際授賞式を 2023 年 12 月 15 日（金）に全世界から視聴可能な完全オンライン形式で実施した。また、国内授賞式は、九州大学 AsiaWeek2023 の関連企画として、11 月 11 日（土）に九州大学芸術工学研究院で開催し、九州大学からアジアそして世界へ、社会的課題の解決による持続可能で人々の多様な幸せ (well-being) を実現できる社会の構築に向けてのデザインアイデアを公開して共有した。

【金賞】

「BLOCK&MEMORY: Orientation walking ability training AIDS designed for visually impaired children」HONGXU LUO, HAN JIAYI, and CHU XINRUI（大連理工大学／中国）

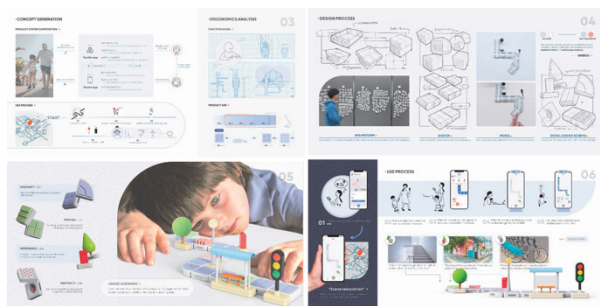


図2 金賞作品

【銀賞】

「Pieces of Peace」 Hao Cao, and Masao Oi（東京大学）



図3 銀賞作品

【銅賞】

「Cosmic Education - for the past, present and future」Shruti Umesh Chakke（IED ヨーロッパ・デザイン学院トリノ／イタリア）

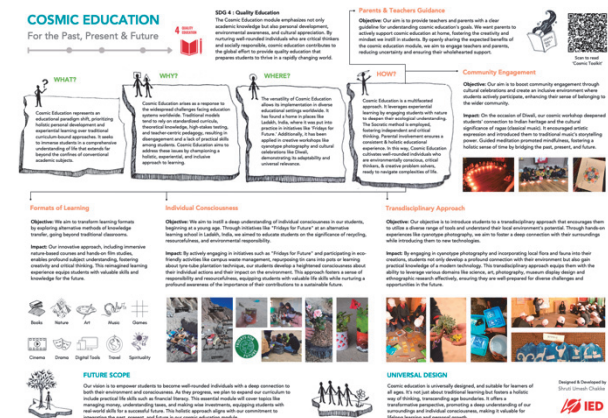


図4 銅賞作品

【企業賞・KM バイオロジクス賞】

「The Brave Adventure of 'Vaccine」木原 秀将（九州大学医学部）、Wang jia（九州大学大学院芸術工学府 博士後期課程2年）

【企業賞・ユーコーラッキーグループ賞】

「Let's Protect the Shining Stars」Jessica Andrade dos Santos（九州大学大学院芸術工学府環境設計コース修士2年）、Jose Aceituno（九州大学総合理工学府総合理工学専攻 機械・システム理工学 国際コース修士2年）

【高校生特別賞】

「Bottle Evo: Unleashing Creativity One Bottle at a Time」RAEXLE ALTHEA N. FERNANDO, Alcantara, Guillermo, Dolores, Banut, Salvador（マリアーノマルコス州立大学付属高校／フィリピン）

「G for Greenery and Geological Disasters」Jamilla Casie Mei Orbeta, Zakia Mei Coloma, Keshia Colleen Gaño, Odessa Padron, Carleone Bruce Salvador, Rayner Johann Ramiro（マリアーノマルコス州立大学付属高校／フィリピン）

「Kulto'ra」Adrian Jed Cacao, Ynnah Therese Salenda, Rvee Anne Vanessa Cid（マリアーノマルコス州立大学付属高校／フィリピン）

2. SDGs デザインスクール 2023

九州大学 SDGs デザインスクールは、2019 年に始まった九州大学大学院芸術工学研究院が行う教育活動である。SDGs にデザインの領域で貢献することを目指し、子どもから大人までさまざまな人を対象にした創造性教育プログラムを提供している。

本教育プログラムでは、デザイン思考を通して SDGs の課題に着目し、互いに協力し合いながら課題解決へのアイデアを考え出すことで主体性や創造性を育むことを目的とする。授業は課題の確定、コンセプト作り、アイデア展開、プロトタイピングのプロセスで進めた。

2019 年から引き続き、福岡市立福翔高等学校と連携して、高校 3 年生全員を対象にした「SDGs チャレンジプロジェクト」の授業をワークショップ形式で、高校の担当教諭とともに実施した。

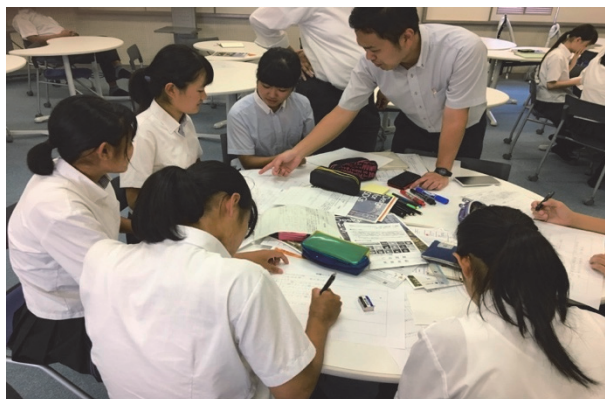


図 5 SDGs デザインスクールの活動風景

表 1 SDGs デザインスクール 2023 年のプログラム

時間	内容	活動形態
4 月	ガイダンス	グループ活動
5 月	課題を抽出	グループ活動
6 月	解決案を構想	グループ活動
7 月	中間発表	グループ活動
9 月	検証及び調整	グループ活動
10 月	最終発表	グループ活動
11 月	論文作成	個人活動
12 月	論文作成	個人活動
1 月	論文提出	個人活動

上記のプログラムは、①SDGs 意識の促進・育成、②21 世紀型スキルの育成、③社会性と情動的学習の育成、という三つの重要な目標の達成を目指して設計した。

3. Global Goals Jam 2023

Global Goals Jam(以下 GGJ)は、持続可能な開発目標、SDGs(Sustainable Development Goals)の達成に向け、グローバルな視点で持続可能性を考え、ローカルな課題解決のアイデアを生み出す 2 日間の国際的な市民参加型ワークショップである。九州大学大学院芸術工学研究院では、2016 年から GGJ を開催し、2 日間のワークショップを通じて、SDGs へと繋がるサービス・プロダクト・アイデアを生み出している。

今年の GGJ は、九州のバイオダイバーシティのあり方を考える 2 日間のデザインワークショップとして開催した。人間の生活や健康、地球環境にさまざまな深刻な影響を及ぼすバイオダイバーシティをテーマにし、デザインと地域性豊かな文化の多様性を融合して SDGs の実現を目指している。



図 6 Global Goals Jam 2023 ポスター

開催日:2023 年 9 月 30 日(土)~10 月 1 日(日) 9:00~18:00

開催場所:対面参加

□ プログラム

- SPRINT 1 | Explore it! 課題を探索しよう!
フィールド調査やパートナーとの対話を通じて課題の文脈に入り込んでいきます。
- SPRINT 2 | Respond to it! 課題へ応答しよう!
課題やその背景を新しいアイデアを誘発するものを作るにはどうしたら良いのでしょうか?
- SPRINT 3 | Make it! つくってみよう!
課題と洞察を明確に伝えストーリーを他者と共有するためのプロトタイプをつくります。
- SPRINT 4 | Share it! シェアしよう!
取り組んだプロジェクトプレゼンテーションを通じて世界に共有します。

□ 参加者

デザイナー・プログラマー・エンジニア・研究者・学生など、様々な背景をもつ人々25名

□ チームの提案

A. 水やりプロジェクト:

どうすれば、持続的に社会的な価値を創造する公共サービスの仕組みをつくることができるのか? 雨水、中水、流水や溜め水などを活用し、環境に合わせ、街の花壇の水やりに対するツールのアイデアや水やりプロジェクトサービスの仕組みを提案した。



図7 Global Goals Jam チームAの提案

B. 那珂川みらいプロジェクト:

「那珂川みらい会議」は、福岡市の中心に位置する那珂川流域の公民学が連携し、那珂川河畔の Well-Being を実現する水辺空間の創出を目指すプロジェクトで、市民に那珂川みらい会議の情報を届け、活動に積極的な参画が起るようなアイデアを提案した。



図8 Global Goals Jam チームBの提案

C. 耶馬溪プロジェクト:

耶馬溪は、大分県中津市に位置する日本新三景に選定される美しい渓谷である。いつもは美しい川だが、今年7月に豪雨水害により被害を受けた。水害を経て、地域の復興や流域でどう暮らすのか、どういったアクションができるか、耶馬溪 RIVER STEP を提案した。



図9 Global Goals Jam チームCの提案

SDGs デザインユニットは、多くのメンバーが様々な分野で活動してきたが、上記は継続してきた3つの代表的な活動を紹介した。